



麻生津のマークはどうしてあるの?~ふるさとの話をしよう

学校では、全校朝礼など皆が集まったときに、様々な麻生津の話をしています。麻生津ふるさとカルタを使って地域の話をしたり、学校の150年ものがたりの紹介をしたり、映画おしょりんの話や、野球の吉田正尚選手の活躍など、麻生津の話題は尽きることはありません。

11月には、麻生津地区から生まれた「おしょりん」を取り上げました。あそうづっこに、「麻生津すごい」「麻生津大好き」の思いに支えられている映画があることを知らせるためです。麻生津村でメガネづくりの礎をつくった実話をもとに、本ができ、映画になったこと。福井市の市政広報誌にも、公民館長さんのメッセージやボランティアさんが撮影場所に福井の名物を持っていったこと等が紹介されたこと。本校の児童二人が頑張って出演したことなど、様々なエピソードがつながっていきます。そこには、大変なこと、困難なことでもあきらめないで挑戦し、力を合わせることの尊さという大事なテーマが流れしており、本校が大事にすることにもつながっています。サービスされるのではなく、安易に楽するためでなく、より豊かに生きたいと思える人になってほしい、自分の願いを叶えようと努力する人になってほしいと思うのです。

12月の授業最終日には、麻生津小学校の「校章」の話をしようと思います。児童玄関の外壁面や、登下校に被る黄色の帽子、体操服の背中など、至る所にある学校のシンボルマーク「校章」があります。それらの写真を撮っていると、1年生の子どもが「このマークはどうしてあるの?」と尋ねてきました。とても大事な問いただす。校章のベースとなっている麻の葉文様には、歴史的な意味や、江戸時代の歌舞伎衣装、漫画「鬼滅の刃」のヒロインの着物等にもつながる流行があったこと。魔除けも意味する模様で、古い昔から赤ちゃんの産着に使われ、健やかな子どもの成長を祈る意味があることなど、調べると様々な情報が出てきます。学校に文献として残されているわけではないのですが、麻生津の歴史の中で、あそうづっここの健やかな成長を願う大事な意味が「校章」に込められているのだと思うのです。

冬休み、年末年始は、ご家族でゆったりした時間が過ごせるチャンスです。遠くから福井に戻られた懐かしい顔ぶれもご一緒に、昔話に花を咲かせ、是非、麻生津や麻生津小学校の話をしてみてください。麻生津のことをいろいろ調べる家庭学習もおすすめです。興味を抱き、ふるさと麻生津・福井を大切にしたいという子どもたちの思いが、ますます膨らむことでしょう。

また、冬休みは、雪や厳しい寒さを想定した身支度・準備をしたり、大雪や地震に備えた緊急時の連絡や緊急下校時の家への入り方を今一度確認したりすることも大切です。大人の見通しを持った行動が、子どもたちの身を守る知恵につながりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

今年1年間、大変お世話になりました。年明け、学校が始まるのは、1月9日(火)です。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

1月の行事予定

1月 下校時刻の変更

- 9日(火) 授業再開 集団下校訓練
全校 14:20 下校
15日(月) 委員会
5、6年 15:10 下校
29日(月) クラブ・3年クラブ見学会
3～6年 15:10 下校

※大雪時には急な変更もあります。

～7日(日)冬季休業

8日(月)成人の日

9日(火)授業再開 全校集会

集団下校訓練

24日(水)給食感謝集会

〈麻生津小学校ホームページ〉

11・12月は、避難訓練や保護者懇談、器械運動などの話題を掲載しています。ご覧ください。

asozu-e.sub.jp

